

事業者向け 放課後等デイサービス支援自己評価表
令和7年度キッズランド まめの木 ばらき校

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	25%	25%	基準上は問題ないが放課後の時間帯まで未就学児がいることも多く狭く感じてしまう。別行動をしたり公園に体を動かさしに行くなどして、子どもたちのエネルギー発散・事故のリスクを低下させるなどに対応している。利用人数によって狭く感じることもある。机を片付けたりし、場所を確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	放課後までいる未就学児の人数が多かったり、個別対応が必要な利用者がいるときの人数で大丈夫か心配になることもある。安全に過ごせるよう声掛けをしている。欠員が出た際は本部から応援をもらうなど対応している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	25%	25%	現在、身体に麻痺のある利用者が在籍しているが屋内での活動に特別支障をきたしてはいない。玄関のあがりかまちの高さが高く転倒の予防でステップを設置した。今後も必要に応じて改善・対策していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか PDCA…P(計画)D(実行)C(評価)A(改善)	75%	0%	25%	毎朝のミーティングで前日の振り返りや児童、業務、その他に関する問題をあげて対策などを話し合い、決定したことを実践している。月1回の研修もその機会となっている。実行し、振り返っての評価の機会が明確に設定していないので、必要に応じて期日を決めて行ってもいいかもしれない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	
	6	この自己評価の結果を、事業所のホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか(まめの木では、第三者評価は行っていない)	13%	25%	63%	当社は非実施
8	職員の資質の向上をために、研修や勉強会の機会を設けているか	100%	0%	0%	月一回の社内研修で業務に関連する勉強会を行っている。県社協の研修への参加も希望者や主に管理者が出席し伝達講習を行った。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の要望や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービスの個別支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントはしているが「適切」の基準が不明。偏った視点にならないように今後はより広く意見を聞いて作成したり、知識を深めたい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(知能検査・発達検査)を使用しているか	25%	13%	63%	当事業所では未実施。病院などで実施した検査の情報を保護者から頂き参考にしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	88%	0%	13%	
	14	子どもの特性や家庭状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス個別支援計画を作成しているか	88%	0%	13%	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	毎朝ミーティングを行いその日の活動や職員の動きを確認している。業務時間の都合上その日のうちに振り返りは難しいが、翌日の昨日の振り返りをお行っている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	毎朝ミーティングを行いその日の活動や職員の動きを確認している。業務時間の都合上その日のうちに振り返りは難しいが、翌日の昨日の振り返りをお行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	0%	13%	問題があったり、気になる利用者の行動についてミーティングノートへ記載し職員への共有を行っている。翌日朝のミーティングにて対策や支援の方法について話し合いを行っている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	88%	0%	13%	半年ごとのモニタリングを実施している。	
	19	ガイドラインに沿って自立訓練・機能訓練・創作活動・余暇の提供などを組み合わせて支援を行っているか	75%	13%	13%	ガイドラインについて、周知が近いと感じる。研修で取り上げていく。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	88%	0%	13%	管理者が出席、事前に利用者の状況について他の職員からの情報や評価を収集のぞんでいる。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	38%	13%	50%	医ケア児は当事業所では受け入れがないが必要に応じて連絡体制をとっていきたい。てんかん発作を有する児について、医師の指示書を依頼し有事の際の対応を確認している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%	13%	13%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	13%	0%	88%	対象児おらず	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	25%	50%	実例経験なし。必要になった場合連携をとっていきたい。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	75%	25%	0%	インクルージョンが理想だと思うが、どのように機会を設けたら良いのかわからず出来ていない。周囲へ子どもが利用していることを知られたくないという親もおり消極的になってしまう。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	13%	13%	75%	今年度主催の研修会へは管理者が出席した。当社の相談員が主に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	送迎時保護者とその日の様子を伝えたり、最近の様子で気になることなど情報収集している。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	13%	63%	ペアレントトレーニングの技術がなく、自分では行えていない。必要と感じる場合は当社の心理士へつないでいる。	
	保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に説明している。
		31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	
		32	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	
		33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	
		34	定期的なまめの木通信などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	毎月通信を発行。行事予定等必要に応じて都度LINEで連絡をしている。
		35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	
		36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	75%	13%	設問26と同様の理由で行えていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	契約時に実施している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、防災、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年2回避難訓練、通報訓練実施。 毎月レクリエーションで防災についてとりあげている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修や勉強会を行う等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	毎年社内研修で取り上げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス個別支援計画に記載しているか	75%	13%	13%	必要に感じながら、自分が管理者となるまで、事例を経験したことがなく、実施しきれていなかった。他事業所の例を参考にしたりノウハウを確認し早急に対応する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の意向や医師の指示書に基づき対応がされているか	100%	0%	0%	
	43	ヒヤリハット報告書を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	いつでも閲覧できるようになっている。また、月一回の研修で共有し話し合いをしている。